

製品名: CD235a ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08295**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	16kDa

抗原情報

遺伝子名	GYPA
別名	GYPA; GPA; Glycophorin-A; MN sialoglycoprotein; PAS-2; Sialoglycoprotein alpha; CD235a
遺伝子 ID	2993.0
SwissProt ID	P02724
免疫原	抗血清はヒト GYPA の内部領域から合成したペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

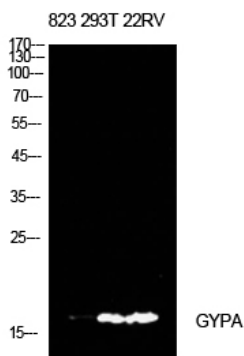
グリコフォリン A (GYPA) と B (GYPB) は、ヒト赤血球膜の主要なシアロ糖タンパク質であり、MN および Ss 血液型の抗原決定基

を担っています。あらゆる集団に共通して存在する M または N 抗原と S または s 抗原に加えて、約 40 種類の関連する変異体表現型が同定されています。これらの変異体には、ミルテンベルガー複合体のすべての変異体、Sta のいくつかのアイソフォーム、Dantu、Sat、He、Mg、および欠失変異体 Ena、S-s-U-、Mk が含まれます。これらの変異体のほとんどは、GYPA と GYPB 間の遺伝子組み換えの結果です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: グリコフォリン A は、赤血球の主要な内在性膜タンパク質です。赤血球膜の外側にある N 末端グリコシル化セグメントには、MN 血液型受容体があり、インフルエンザウイルスも結合します。、オンライン情報:血液型抗原遺伝子変異データベース,多型:GYPB とともに、GYPA は MNS 血液型システムを担っています。、類似性:グリコフォリン A ファミリーに属します。、

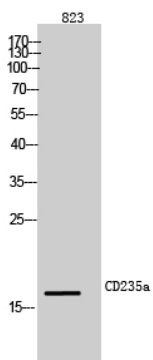
研究分野

造血細胞系統;

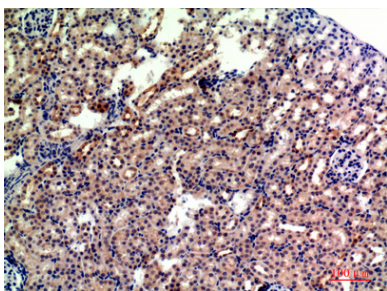
画像データ



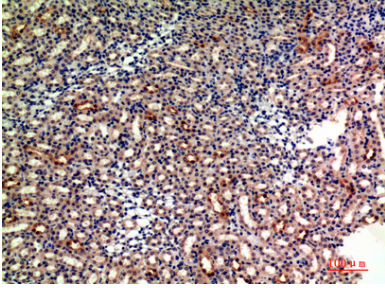
CD235a ポリクローナル抗体を用いた 823、293T、22RV 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



823 細胞に対する CD235a ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いたウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。



パラフィン包埋マウス腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋マウス腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された